

認知症作業療法 活動報告（概要）

石川県作業療法士会では、各市町の依頼を受け認知症予防事業、認知症カフェ事業等とその地域で活動している県士会員を派遣している。

人材育成については、金沢市では、**OTKST**（作業療法金沢サポートチーム）を立ち上げるほか、第**2**回認知症アップデート研修会を開催した。

認知症予防事業（金沢市）

認知症予防のヒントの冊子を活用して、各市町の特徴を活かしながら地域のOTが出前講座を行っている。

金沢市：H29年度からの3年間で19か所ある全ての包括において、もの忘れ健診受診者等を対象とした認知機能向上教室を展開。OTがそのプログラムを監修し、全10回の教室を指導者として開催。教室の内容としては、1回目は体力測定と講話、2回目から8回目はコグニサイズ等の運動プログラムを行い、9回目に再度体力測定、最終日に各参加者と個別で面談し、生活上のアドバイスをを行った。また、R2年度からは地域住民が主体となって地域展開できるよう、地域の運動普及推進員にスタッフとして参加していただき、プログラムの実施方法やリスク管理などに関して指導を行った。今後、認知機能向上教室終了後の新規事業として65歳以上の高齢者を対象とした金沢市版認知機能向上プログラムの普及啓発を計画しており、そのプログラム作成にOTが関わっている。出前講座は金沢健康を守る市民の会や金沢市スポーツ事業団から、認知症予防に関する講話や実技の依頼があり、OTKSTから講師を派遣している。



認知症アップデート研修の開催

県士会員を対象に、老人保健施設等に働く中堅作業療法士**4**名を講師に、**2019年1月19日**に研修会を開催した。介護施設だけでなく一般病院・精神科病院に働く作業療法士も含め**45**名の参加があった。

その他の活動

金沢市の認知症カフェ、出前講座に出向いたり、津幡町の脳イキイキメイト養成講座の講師などに関わってきた。

今後の展開

- ・ **R2.1/25**（土）にアップデート研修会を開催予定
- ・ 県士会員が様々なかたちで認知症に携わっているが現状把握は不十分で、所属施設の業務として活動する場合、各個人が依頼を受ける場合、県士会に依頼がある場合などがある。県士会としては、認知症を含めた高齢者に携わる作業療法士の質の向上を図りたい。
- ・ 若手作業療法士が認知症を学べる身近な機会として、支部事例検討会（年間**15**回）を活用したい